

2017年2月2日

## 2017年度（第21回）「野間文芸翻訳賞」決定のお知らせ

講談社は、第21回野間文芸翻訳賞を下記の通り決定いたしましたので、本日お知らせいたします。

### ◆受賞者と受賞作

受賞者：アントニエッタ・パストーレ Antonietta Pastore

受賞作：村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』（文藝春秋 2013年刊）  
イタリア語版

Murakami Haruki, *L'incolore Tazaki Tsukuru e i suoi anni di pellegrinaggio*  
(Giulio Einaudi editore, 2014)

### ◆選考委員(敬称略)

和田忠彦（東京外国語大学名誉教授）

岡田温司（京都大学教授）

ジョルジョ・アミトラノ（前イタリア文化会館館長・翻訳家）

◆選考委員会 2016年12月7日 於講談社

### ◆贈呈式

日時：2017年4月7日 18:30～

場所：Grand Hotel et de Milano（イタリア・ミラノ）

正賞：賞状 副賞：1万米ドル

### ◆受賞者プロフィール

1946年トリノ生まれ。高校を卒業後ジュネーブ大学で教育学を修め、ジャン・ピアジェの指導を受ける。その後パリのソルボンヌ大学で修士課程を修了。70年代にはパリのポンピドゥセンターで教育普及のアシスタントを務める。1977年から1993年までは日本で暮らし、大阪外国語大学の客員教授を務める。1993年イタリアに帰国し、翻訳・執筆活動に精力的に携わる。夏目漱石、安部公房、井上靖、中上健次、池澤夏樹、桐野夏生、川上弘美などの小説に加え、村上春樹作品の大部分をイタリア語に翻訳。自身も作家である。

### ◆「野間文芸翻訳賞」とは

「野間文芸翻訳賞」は、日本文化の海外への紹介および国際相互理解の増進に寄与することを目的に、講談社創業80周年を記念して1989年に創設されました。日本の文学作品（戦後1945年以降）を外国語に翻訳、刊行された作品の中から、2年に一度最も優れた翻訳をした者に贈られるものです。

今回の対象言語はイタリア語です。イタリア語が対象となるのは2001年に続き3回目となります。

●この件に関するお問い合わせは講談社広報室まで TEL03-5395-3410